

◎ 「大学入学共通テスト」まで、あと100日

「共通テスト」まで、あと100日となりました。同時に来週12日(火)から中間考査も始まります。高校で受ける定期考査もあと2回です。みなさん、準備の方はどうですか？受験本番へのカウントダウンが刻々と進むこの時期、焦っている人も多いのではないのでしょうか。焦る気持ちのまま狭い視野の中を進んでいても、せっかくの努力も空回りとなる可能性が高いです。

◎ 「北高の授業・定期考査の延長線上に受験はある！！」

定期考査の科目が受験科目と重なる場合は、今回の中間考査の範囲を受験勉強の完全定着パートと捉え、徹底的に学習しモノにしてください。定期考査の科目が受験科目ではないにしても、授業から考査までしっかり取り組むことには様々なメリットがあります。

授業を通して、身の周りや社会で起きている1つ1つの事象を数学的物の見方、生物化学物理地学の観点、政治経済地理歴史の視点から見ることを学ぶことができます。受験勉強で凝り固まった頭のリフレッシュにもなります。

広い視野を身につけることは、知識教養の幅が広がり、結果として得点アップにつながります。

◎ 「入試における合否を分けるポイント」

～3年7月進研記述模試活用ブックより～

(1) 一般的な入試問題の出題構成

レベル	割合	問題
基礎(～標準)	60%	★ここを取りこぼすと差がつく！！
応用	20～30%	少し頑張れば解ける問題
難問	20%未満	多くの人が解けない 差がつかない問題

(2) 合否を分けるポイント～合否の差がつく基礎～標準問題を取りこぼさない！！

一般的な入試問題では、基礎(～標準)・応用・難問レベルも問題が出題されます。このうち入試で最も差がつく問題は基礎(～標準)レベルの問題であり、ここを取りこぼすと同じ志望校を目指すライバルと差がついてしまいます。個人成績表(裏面)の「第1志望校との関係から見た設問別成績」に注目し同じ志望校のライバルの得点率が高かった分野で、取りこぼしがなかったかを確認しましょう。

2年12月の進路講演会でも話したように、難しい問題ができなければ合格できないと思うのは大間違いです。大学入試問題は教科書の内容から出題される上、基礎力(教科書の理解力)と応用力を試す問題が中心です。つまり、日々の授業と家庭学習の積み重ねが合否を決めるのです。

◎ 「3年10月ベネッセ駿台記述模試」得点率の目安

得点率	個別試験4教科	個別試験3教科以下	
8割	・東京大・理三		7割以上の得点が 求められる 東京大、医科系
7割	・東京大・文一、文二、文三、理一、理二 ・名古屋大・医(医) ・京都大・文、経済(文)、総合人間(文)、 医(医)	・東北大・医(医) ・東京工業大 ・九州大・医(医)	
6割	・一橋大・法、経済、商、社 ・名古屋大・文 ・京都大・法、教育(文)、総合人間(理)、 理、工、薬、農	・北海道大・医(医)、獣医 ・東北大・法 ・名古屋大・法、経済 ・大阪大・文、法、経済、人間科学、理、薬 ・九州大・法、教育	一橋大、京都大は、 6割以上の得点が 求められる
5割	・名古屋大・理 ・九州大・文	・北海道大・文、法、経済、教育、水産、 総合文系、総合理系 ・東北大・文、経済、教育、理、工、歯、薬、農 ・名古屋大・教育、情報、工、農 ・大阪大・外国語、工、基礎工 ・九州大・経済・経済経営、共創、理、工、芸術工 歯、薬、農	3教科 5割以上の 得点が、 難関国立大への 足がかり

4割 一般国公立大
3割～3.5割 全国平均得点率

★9、10、11月の『ベネッセ駿台模試』は、11月に行われる「個人面談」、「3者面談」の重要な資料となります。

◎ 今後の日程

〈模試〉

10月16日(土) ベネッセ・駿台記述模試(全員)

10月24日(日) 河合塾全統第3回記述模試(希望制)

「共通テスト」とのドッキング判定

10月30日(土) ベネッセ・駿台共催テスト模試(全員)

11月21日(日) 河合全統プレ共通テスト模試(希望制:獨協大学会場)

12月24日(金)、25日(土) 校内プレ共通テスト

★共通テストと同日程で実施

★昨年348人(358人在籍)受験希望者

〈共通テスト関連〉

10月27日(水)までに 確認はがき到着

12月15日(水)までに 受験票到着

※裏面に、毎日新聞9月27日(月)号「大学受験NOW」の記事を掲載します。『英語』、『現代文』、『数学』についてのこの時期からの対策が紹介されています。